

国分G本社「けんこみ」好調にスタート

地域密着ヘルスケア事業を本格化

国分グループ本社が住友商事、サミット、トモズと連携し、今年3月にサミットストア・トモズ鳩ヶ谷駅前店で開始した、ヘルスケアの提案スペース「健康コミュニケーション(けんこみ)」の運営が順調だ。

健康軸の新しい取り組みである「けんこみ」は、医薬系卸の東邦HDや大木HDと業務提携をして活動を続けてきたサンフラワープロジェクトの一環として展開するもの。

昨今の健康意識の高まり、生活の場でのコミュニケーションの希薄化、食品市場の長期的な存続などの課題解決を目指す。

(まとも小倉泉弥)

〈けんこみ〉創出へ

2007年、国分グループ本社は、東邦ホールディングス、大木ホールディングスと業務提携をして、卸3社でサンフラワープロジェクトを立ち上げた。目的は、同じ卸という立場で、人々の健康の維持・改善に繋がる事業を展開すること。

当時の食品業界では「健康」が一つのジャンルとして確立しているとは言えない状況だったが、長寿社会において健康寿命への関心は増していた。

「当時、国の医療費は年々膨らんでおり、大きな社会課題になっていた。そこで、未病という考え方に着目。ポイントとは、日々の食生活を大事にすること。健康を



考慮した食品へのニーズは高まってきていた」(佐々木誠ヘルスケア統括部副部长・写真)。

16年には、食に対する考え方を「健康軸」の視点から見直し、健康・介護分野で新たにビジネスモデルを構築するため、国分はヘルスケア統括部を設立。

そして今年3月、ヘルスケアを提案する「健康コミュニケーション(けんこみ)」という場の創出に至った。「東邦は病院やクリニックなど医薬系、大木はDg・sなど医薬系に近い領域、

糖化度、血管年齢、ヘモグロビン、骨健康、野菜不足(体組成)を設置しており、店舗に訪れた人が、買い物ついでに無料で健康状態をセルフチェックできる。

「けんこみ」ブースにはトモズの管理栄養士が常駐し、来店者へ健康に関する情報を提供する体制を整えた。食や栄養についてアドバイスしてもらう。

当社はSMなどで日常的な食品を取り扱う。立場や目線の異なる3社が協働することで、本格的な医療から未病までを意識した領域を、「ヘルスケア」という一つの大きなカテゴリーとして位置づけた。

この数年來、ヘルスケアは時代の潮流であり、成長領域と考えられている。折しもコロナ禍を経験する中で、一般消費者の健康意識はさらに高まっており、「食をおいしく、かつ健康的に」という考え方は加速度的に広がっている。

「地域密着でヘルスリテラシー向上へ」

「けんこみ」は、サミットストア・トモズ鳩ヶ谷駅前店に導入した。8種の健康測定器(血圧、ストレス、

糖化度、血管年齢、ヘモグロビン、骨健康、野菜不足(体組成)を設置しており、店舗に訪れた人が、買い物ついでに無料で健康状態をセルフチェックできる。

「けんこみ」ブースにはトモズの管理栄養士が常駐し、来店者へ健康に関する情報を提供する体制を整えた。食や栄養についてアドバイスしてもらう。

一番の目的は、地域密着で地元の人々の健康状態の改善をお手伝いしていくこと。現代社会では、なるべく自分で良好な健康状態を維持するセルフメディケーションが食品にも求められている。食材の組み合わせで、ビタミンの吸収効率も変わる。ヘルスリテラシー向上に貢献したい。

「けんこみ」は、店舗の入り口付近に設置。3月のオープン以降は多くの来店客が立ち寄っており、「血圧を毎日測りに来る人もいます。何度もお声がけをすることで、老若男女問わず、常連になっていただける。

何より、さまざまな局面でセルフ化が進む中、「けんこみ」ではコミュニケーションが活発になる。評判が口コミで広がり、管理栄養士への相談の幅も広がっている。

「お客様との会話の帰結として、料理レシピや商品がある」と分かりやすい。特

「けんこみ」の管理栄養士が選んだお薦め商品も展開。

「お客様の健康を気遣うことは、これからの時代に求められることだ」と思う。SDGsでも健康は不可欠。今取り組むべきテーマ

「けんこみ」の管理栄養士が選んだお薦め商品も展開。

「お客様の健康を気遣うことは、これからの時代に求められることだ」と思う。SDGsでも健康は不可欠。今取り組むべきテーマ

に料理レシピは毎月更新することで目新しさも意識している。旬の食材を使用し、トレンドも取り入れて作成。「健康ばかりを考えた食事はおいしくない」というイメージを払拭していくことも大事だ。

お客様の健康状態を維持するお手伝いをする中で健康寿命を延ばすことになり、結果として市場全体を守ることに。お客様の健康を気遣うことは、これからの時代に求められることだと思

マであり、経営課題に繋が

「。今後は、全国展開も視野に入れている。

他にも健康関連の取り組みとして、4月にイオン、味の素、キッコーマン食品と共に「千葉市民の食習慣の改善に向けた連携に関する協定」を締結。全国的に減塩の意識が進む中、千葉市と連携して、イオンの売り場を介して、健康訴求を実施している。「店舗だけではなく、公民館にレシピを置くなど、官民一体となった。他の自治体にも広めていきたい」。

マであり、経営課題に繋が

「。今後は、全国展開も視野に入れている。

他にも健康関連の取り組みとして、4月にイオン、味の素、キッコーマン食品と共に「千葉市民の食習慣の改善に向けた連携に関する協定」を締結。全国的に減塩の意識が進む中、千葉市と連携して、イオンの売り場を介して、健康訴求を実施している。「店舗だけではなく、公民館にレシピを置くなど、官民一体となった。他の自治体にも広めていきたい」。

マであり、経営課題に繋が

「。今後は、全国展開も視野に入れている。

他にも健康関連の取り組みとして、4月にイオン、味の素、キッコーマン食品と共に「千葉市民の食習慣の改善に向けた連携に関する協定」を締結。全国的に減塩の意識が進む中、千葉市と連携して、イオンの売り場を介して、健康訴求を実施している。「店舗だけではなく、公民館にレシピを置くなど、官民一体となった。他の自治体にも広めていきたい」。

Less is more.
レンゴーが考えるパッケージング・イノベーションの基本です。

Less energy consumption
エネルギーの消費はできるだけ少なく

Less carbon emissions
二酸化炭素の発生はできるだけ少なく

High quality products with more value-added
より付加価値の高い高品質な製品づくり

COOL CHOICE
未来のために、いま選ぼう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

レンゴーは、持続可能な社会の実現に向けた国際的な統一目標であるSDGs(持続可能な開発目標)を見据え、事業活動の全てにおいて社会的課題と真摯に向き合い、パッケージングで物流と暮らしを支えるとともに、より良い社会、持続可能な社会の実現のために、たゆみない努力を続けてまいります。

レンゴー株式会社
本社 〒530-0005 大阪府北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー TEL.06-6223-2371 / 東京本社 〒108-0075 東京都港区南1-2-70 品川シーズセンター TEL.03-6716-7300

GPI
グローバルパッケージング・インダストリー